

検体の測定を依頼される先生方へお願い

いつも検体の測定のご依頼ありがとうございます。

今後、検体を提出される場合、以下の点にご注意願います。

検査を施行していましたが佐藤が感染分子教室より長崎大学医歯薬学総合研究科運動障害リハビリテーション分野（神経内科学）に移動しましたが、実験自体はそのまま感染分子教室で行っております。

送り先を感染分子教室にそのままお願いします。

又結果の送付を 1 カ月以内にするために、実験助手を雇い、検査体制をさらに強化するのいたしました。（現在 RT-QUIC 法は 2 ヶ月以内を送る形になっております。）このシステムは平成 29 年 4 月より開始します。

さらに申し込み用紙などわかりにくいというご意見をいただき、又 CJD サーベランス委員会 JACOP 事務局との話し合いによりプリオン病関連脳脊髄液検査依頼用紙を変更させていただきました。

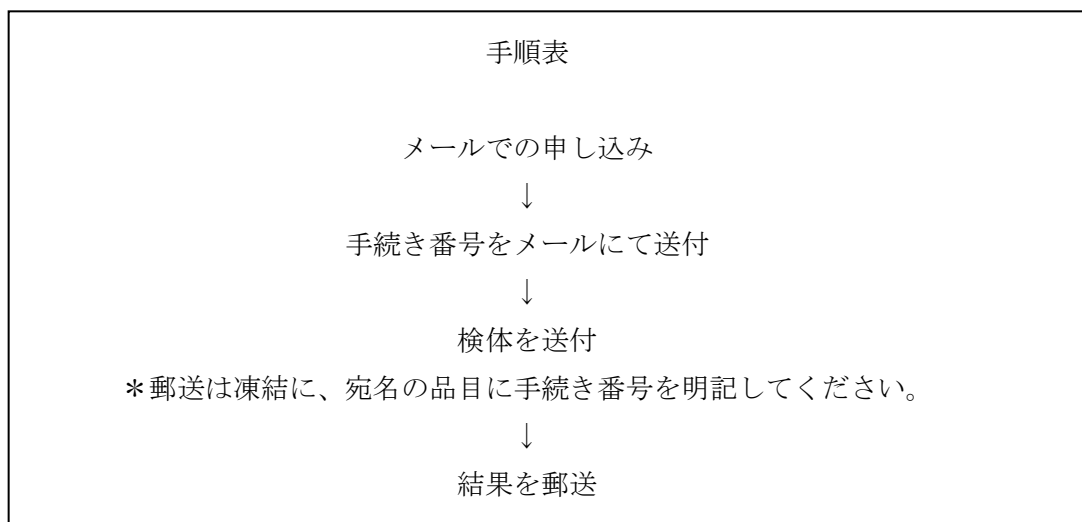
1. 申し込みの方法：（検体を送付していただくまで全てメールでのやりとりとなります。）

まずご依頼のメールをお送り下さい。

折り返し、手続き番号をお送りします。

もしもよろしければ、申し込み書の返事はサーベランス委員会に提出もありますので、紙でお送り下さい。申し込み用紙にご記入頂き、検体共にお送り下さい。

（確認のメールは送りません。）



2. 検体送付に関する注意事項

- ・検体は、冷凍（－20℃）でお送り下さい。（検体最低量は血清・髄液とも1-2ccです。）
- ・送付の際、宛名を必ず『長崎大学 感染分子教室 佐藤克也』宛にお送り下さい。

〒852-8523 長崎県長崎市坂本1-12-4 基礎棟8F 感染分子解析学分野

もしもよろしければ 当院での検体の到着は月一金：AM10-11時(午前中)での時間指定でお願いします。

土・日曜日に来た検体は受け取りません。（このシステムを10月の後半よりスタートし、すでに土・日曜日に来ました。必ず守ってください！

・検体送付の宅急便等の伝票には、申し込み番号または受付番号を必ず明記して下さい。

・最近、髄液がこぼれているケースが時折認められますので、必ず検体の送付の際にスクリーキャップまたは、エッペンドルフチューブをつけてお送り下さい。さらにパラフィンなどでチューブから出ないように工夫していただければ光栄です。

3. 現在まで臨床をしながらアッセイをしていましたので、1ヶ月に2度行えないこともありましたが、アッセイは1ヶ月に2度、日にちを決めずに行うことに致しました（第1, 3週目の火曜日又は水曜日午後）。

4. 我々の結果を勝手に学会や論文に使用しているケースが多々あります。学会や論文に使用

するケースではご一報ください。

いまだにルールを守らず、検体結果を無断で使用している方がいらっしゃいます。ご注意ください。

5. 最後に送るもののチェックリストです。

- 髄液（脳脊髄液）及び血清
- 検査依頼用紙（急ぎかどうか必ずチェックしてください）
- プリオン病関連脳脊髄液検査依頼用紙
- 長崎大学同意書
- CJD サーベランス委員会の同意書（2種類）様式2のみでOKです

*我々の検査は厚生労働省の難病疾患の援助にて行われており、又 CJD サーベランス委員会の協力により診断の最終調査を行っています。

*我々の研究は JACOP (Japanese Consortium of Prion disease) と連携しております。JACOP はプリオン病の自然歴や病態の解明、新規治療薬の開発などの臨床研究を行うための全国組織です。皆様のご協力をお願い致します。